

静岡県立小山高等学校

同窓会報 第5号

発行
静岡県駿東郡小山町竹之下369
静岡県立小山高等学校同窓会
TEL 0550(76)1188代

平成28年3月31日現在
全日制卒業生 6,935人
定時制卒業生 610人



H28 野球部・浜松工業を撃破し校歌を歌う



H28 ダンス部 全国高等学校ダンスドリル選手権大会(全国大会出場)



H28 吹奏楽部定期演奏会



H27 全日制 クロスカントリー大会



H28 全日制 笙陵祭文化の部(校内発表)



H27 全日制 沖縄への修学旅行



H27 定時制 修学旅行



H27 全国高等学校定時制通信制陸上競技大会



H27 静岡県東部高等学校定時制生活体験発表会



H27 静岡県高等学校新体力テスト記録会表彰式

御挨拶



同窓会長
鈴木 新一
(第二期生)

同窓生の皆様におかれましては、益々御健勝で御活躍のことと拝察致し、お喜び申し上げます。また、日頃から同窓会に対し御支援、御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

記念すべき同窓会報第一号発行以来約一年、関係各位の御尽力によりこの度第五号を発行できますことに対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

自然に囲まれ、壮大な富士山を毎日眺めることができ、静かな環境の足柄の地に、本校が創立され今年で三十二年目を迎えます。今年三月に卒業しました第二十九期生を迎え、同窓会員は七五五名となり、様々な分野での同胞の活躍を見聞きするにつけ、嬉しく思うと同時に大変頼もしく感じます。高校時代を振り返れば多感な青春時代を過ごした三年間、生意気に背伸びし、いろいろなことに挑戦し、今でも変わることも無い友人とめぐり逢い、自分自身にとって人間形成を養うことができた大切な時期であったと思います。

本年の同窓会事業は学校支援事業が中心となっております。毎年実施しております野球応援バス支援やプロジェクト維持管理費の他、破損が酷かったテニスコート二面の修繕を新規で実施いたしました。今後も、生徒の学校生活がより充実したものになるよう、学校側と協議し、支援を行っていきたいと考えております。

小山高校同窓会は、他校と違い同窓会を運営する執行部は三十代から四十代の働き盛りで忙しい面々ばかりであります。心

ひとつに活発な同窓会を運営して参りますので、皆様の更なる御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様の益々の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

同窓会新幹事御挨拶

二十九期生 渡邊咲美夏

今年小山高校を卒業しました第二十九期生同窓会幹事長の渡邊咲美夏です。

高校を卒業して大学に入ってから半年が経ち、時々小山高校の生活を思い出します。小山高校では文化祭やクロスカントリー、など多くの行事の中で友人や先生、地域住民と多くの絆を深めあうことが出来ました。落ち込んだり、喜んだりしたとても刺激のある毎日でした。今でも友人と小山高校で過ごした日々を語り合っています。

先日、幹事会に出席をしたとき、先輩たちからの多くの支援を受けていたことを知りました。私も先輩たちのように多くの支援をし、後輩たちに小山高校で友人と多くの絆を作ってもらいたいと思っています。微力ではありますがよろしく願います。

二十九期生 長田 陸

今年度卒業しました第二十九期生同窓会生の幹事を務めさせていただくことになりました。

高校の三年間は早いようでとても短く、今でも鮮明に覚えています。僕が高校生活で一番がんばったことは部活動で、僕はサッカー部に所属していました。僕はその中で先輩や先生方などへの礼儀を教えてもらい、それが今仕事場で活かしていることを実感しています。このように僕にたくさんのお話を教えてくれた小山高校に感謝し、貢献していきたいと思っております。よろしく願います。

小山高校と地域のため



校長
綾部 信明

日頃より同窓会の皆様には、本校教育活動におきまして、多大なる御支援、御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校も昭和六十年に創立してから三十二年目となりました。さすがに施設・設備におきまして、各所に傷みが生じてきておきたいへんな状況になっております。このような中、本年度におきましては、継ぎはぎだらけであったテニスコート二面の張替えをしていただき感謝申し上げます。そして、高校野球夏の大会では、野球部が大活躍をし、三回戦まで駒を進め私たちが大きな夢と感動を与えてくれました。その際、同窓会の方々から多くの声援をいただきました。生徒たちは、球場で勝者が歌うことができる校歌を二度も大きな声で歌うことができ、誇らしげに歌うその姿は、自信に溢れ、愛校心に満ちていました。同窓会の皆様も大きな夢を抱かれたかと思えます。

また、野球部が勝ち進むことで、多くの地域の方々からの声援もいただき、地元の高校ということで地域から愛されている学校であると再認識いたしました。それは小山高校が、地元を大切にすることによってボランティア活動に力を入れていられることにも本校を応援していただくことに繋がっているのではないかと思います。

小山高校が様々な面で盛り上がることで地域も活力が出ます。今後とも小山高校と地域のために、第一の応援者であります同窓会の皆様の御協力御支援をよろしく願います。

地元で育つ小山高生



副校長
中村 真二

この夏、全日制の1年生全員が、小山町の役場でインターンシップ(職場体験)を行いました。

町長戦略課に配属された生徒は、実際に町の広報誌を作成しました。また、農林課に配属された生徒は、林道の点検や補修作業を行うなど、各課に分かれて2日間に渡り様々な活動を行いました。役場でのインターンシップを体験することで、生徒達は自分たちの生活が役場の方々の地道な働きによって支えられているということに気づくことができ、また同時に、働くことの意味、自分は将来どう社会に貢献していくのか、といったことを考えることができました。2日目の午後には、小山町の豊かな水を活用して飲料を生産している丸善食品工業と、広大な敷地で高糖度トマトを生産しているサンファーム富士小山を見学し、地元には多くの誇れる事業所があることを知ることができました。

今回のインターンシップでは、役場や事業所のいたる所で活躍されている多くの小山高校の卒業生の皆様から、後輩達に優しく声を掛けていただきました。ウォークラリーや富士登山、クロスカントリーなど、小山高校には小山高校でしか体験できない多くの教育活動があります。これらの教育活動は、多くの地元の方々、卒業生の皆様によって支えられています。

小山町唯一の高校として輝く教育活動ができるよう、これからも卒業生の皆様の温かい御支援をどうぞよろしく願います。

全日制母校の近況

第二次ベビーブームに対応するための本県最後の新設校として、一九八五年に開校した本校も今年で三十二年目を迎えました。この間同時に開校した長泉高校・伊東城ヶ崎高校はそれぞれ統廃合と分枝化でその姿を変え、唯一本校のみがそのままの形で生き残っています。しかし本校にも少子化の波は押し寄せ、最大一学年七あったクラスが今では四クラスに減り、空き教室が目立つようになりました。一学年の定員百六〇人の内訳は、男子七〇人、女子九〇人の比率で定着し、男子の部活動はどことも部員確保に苦勞するようになっていきます。これに伴い部活動の統廃合も進み、運動部では柔道・ゴルフ・男子バレーボール・卓球部が、文化部ではパズル・囲碁将棋・情報処理部が姿を消しました。

このように書くとも小山高校も衰退の一途を辿っているように感じられるかもしれませんが、ところがどっこい「山椒は小粒でもピリリと辛い」というように、小規模校ならではのまともりの良さを武器に北駿にその存在を誇示しています。具体的に言うと、部活動ではダンス部が一体感とキレのある華麗な踊りで全国大会の常連となり、地域のイベントにも引っぱりだこの活躍を見せていますし、女子に人気の吹奏楽部は部員が五〇人を超えてA編成でコンクールに出場するようになり、ダンス部同様地域のイベントでも活躍しています。さらに、野球部は今夏強豪の浜松工業をコールドで破って七年

ぶりの三回戦進出を果たし学校を盛り上げました。また、進路実現の面でも面接や小論文のマンツーマン指導や一年次からの早め早めの意識づけなど、本校の売りである「面倒見の良さ」と生徒の真面目な取り組みによって近年実績を伸ばしています。本校はまた多種多様な進路の生徒が共に学んでいるのも特徴で、概ね四年制大学進学者が五〇％、専門学校二五％、短大一五％、就職一〇％の比率です。そんな中、近年国立大学に一〇名前後の生徒が合格したり、難関の看護・医療系進学者も増えていきます。さらに今年度から一年生全員が小山町役場でのインターンシップを実施し、将来地元を支える人材となるよう期待されています。

もう一つ最近の傾向として見受けられるのが、保護者のいざれかあるいは両親ともに本校の卒業生だという家庭です。初期の卒業生も四〇代後半となり、丁度高校生の子どもを持つ年代になっていきます。今後もこの流れが継続し、親子で本校を盛り上げていくというだけのことをお願いしています。最後になりますが、本校は北駿の厳しくも自然豊かな環境の下、「いかなる時代も遅く生きた抜ける人間の育成」を目指すとともに、将来地元に戻り地域に恩返しのできる人材を輩出する「地域密着型の学校」を目指しています。今後も同窓生の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

(事務局 富田)

母校の近況



定時制教頭
高石 達寿

小山高校定時制は、静岡県立御殿場高等学校小山町立小山分校として昭和二十三年に設立され、その後昭和六十年からは小山高等学校全日制的開校に伴い、統合併設され現在に至っています。平成二十六年に創立三十周年を迎えましたが、分校時代を含めると七十年近くの歴史があります。卒業生の数も分校時代の千二十三名を合わせると千六百三十三名に上ります。現在の生徒数は三十三名で、ここ数年減少が続いていますが、学校経営計画にある北駿地区の「面倒見の良い定時制高校」として、自立できる生徒を育て、地域に貢献できる人材を育成することを目指し、教職員一丸となっているところです。

ところで、私は昭和六十三年から平成二年まで本校に勤務していました。当時は自衛隊に勤務しながら通学していた生徒がほとんどでした。昼間は自衛隊の訓練、夜は勉強ということで肉体的にもかなり大変だったと思いますが、高校卒業の資格を取りたいという一心で生徒たちは頑張っていました。特に部活動や新体力テスト(当時はスポーツテスト)で力を発揮してくれ、全国大会に出場したり表彰されていました。

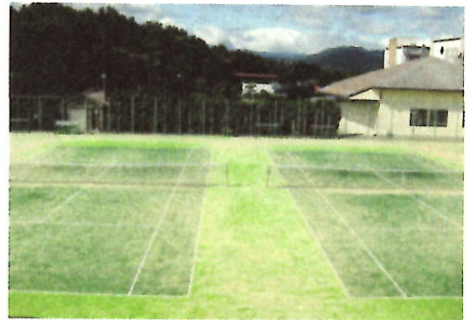
昨年度より、教頭として本校に再び赴任しましたが、自衛隊から通学している生徒はほとんど居らず、中学校を卒業後すぐに入学する生徒がほとんどで、ずいぶん様変わりしていました。しかし、部活動では、全国大会に出場する生徒も多く、新体力テストでは最優秀校を二年連続で男女とも受賞するとともに、男子は四十七年連続で優良校以上、女子も十七年連続で優良校以上を続けています。良い伝統が引き継がれていて頼もしい限りです。

今後もこの良い伝統を引き継ぐとともに、生徒は少なくなりませんが、自立できる生徒を育て、地域に貢献できる人材を育成するべく、教職員一同頑張っていますので、これからも同窓生の皆様の温かい御支援をお願い申し上げます。



平成28年度 小山高校同窓会 学校支援事業の紹介

テニスコートの人工芝を 2面貼り替えました



小山高校男子テニス部 部長 長島 圭吾

この度は私たちテニス部のために、コートをご改修工事して頂き、ありがとうございます。おかげさまで今まで以上に実のある練習ができています。

工事をして頂く前はコートに剥がれている所があり、ボールがイレギュラーしたり、つまずいたりしてしまふことが多くあり、コートの上を全力で走ることが少し不安でした。しかし、工事をして頂いた今ではそのような不安はなくなり、どのコートでも全力でボールを追うことができます。

私たちは、多くの方々の助けや支えがあって今コートで練習ができています。その全ての方々に少しでも恩返しをするために今まで以上に練習に集中し、大会などで少しでも良い結果を残し、きれいなコートに恥じない部活にしていきたいです。

小山高校女子テニス部 部長 勝亦 葉月

コートを張り替えて下さりありがとうございます。コートを張り替えて下さったおかげで、練習に取り組める人も減り、思い切り練習に取り組めるようになり、私たちが安心して部活に取り組めているのは、今回コートを張り替えて下さった同窓会の方々のおかげだと、日々実感しています。張り替えてもらい、きれいになったコートでたくさん練習をして、いい結果を残せるようにがんばりたいと思います。この先の新人戦や最後のインターハイにおいて東部地区で優勝し、県大会に進出して少しでも多く勝ち進めるように、チーム一丸となって全力でプレーしたいと思います。そして、一人一人が自分の実力を試合で発揮できるように、きれいなコートで一球一球大切に打っていきたくです。これからもよろしくお願ひします。

（この文章は上記の女子部長の文章と重複しているため、ここでは略す）

平成27年度 主な進路状況

1. 国公立大学・短期大学

都留文科大学、長野県立看護大学、室蘭工業大学
静岡県立大学短期大学部、大月短期大学

2. 私立大学

青山学院大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、東海大学、東京農業大学、大東文化大学、国士舘大学、國學院大学、獨協大学、拓殖大学、鎌倉女子大学、神奈川大学、常葉大学、国際医療福祉大学、順天堂大学、鎌倉女子短大、小田原短大、湘北短大 (他)

3. 専門学校

静岡県立農林大学校、沼津テクノカレッジ、神田外語学院、トヨタ自動車大学校、静岡デザイン専門学校、大原医療観光専門学校、東京スクールオブミュージックアンドダンス専門学校、静岡医療センター附属静岡看護学校、御殿場看護学校、横浜医療センター附属横浜看護学校、横浜中央看護専門学校、小田原高等看護専門学校

4. 就職

静岡県警察、消防官(御殿場小山広域行政組合)、陸上自衛隊、ジーシー富士小山工場、ケンコーマヨネーズ、岡村製作所、太平洋ゴルフサービス、平山、金羊社、御殿場テトラパック、矢崎エナジーシステム、矢崎部品、高村工業、御門屋

お忙しい中、原稿依頼を快く引き受けて下さった皆様に深く感謝致します。同窓会報第五号にて同窓会の活動が少しでも皆様に伝わりましたら幸いです。これからも同窓会活動に御理解と御協力をお願い致します。事務局より



平成27年度 静岡県立小山高等学校同窓会会計決算書

収入総額 3,528,578 円
支出総額 2,698,488 円
差引残額 840,090 円 (次年度へ繰越)

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減額(B-A)	備 考
繰入金	1,517,000	1,517,000	0	平成25年度より繰越
入会金	167,000	166,000	△1,000	1,000円×100名(会費制150名、定時制5名)
会費	1,614,000	1,604,000	△10,000	会費制(0.000円×100名、定時制0.000円×5名)
繰入金	500,000	0	△500,000	
貸付金	100,000	541,329	61,329	空欄料金(PTA会費より)
雑収入	912	181	△731	預金利息
合 計	3,975,000	3,928,979	△46,021	

科目	予算額	採用増減額	予算残額(A)	決算額(B)	比較増減額(A-B)	備 考
常務費	950,000	△20,000	930,000	301,555	628,445	
役員費	400,000	△20,000	380,000	0	380,000	
会費	20,000	0	20,000	2,410	17,590	幹事会会費
雑費	300,000	0	300,000	238,607	61,393	幹事会費、同窓会長代行費
役員費	250,000	0	250,000	70,018	179,982	幹部研修費用、ネット利用料、郵送料
学校支援事業	900,000	△65,000	835,000	609,604	225,396	
学校支援事業	900,000	△65,000	835,000	609,604	225,396	同窓会、40名、幹事会役員費、F-100名
雑費	100,000	0	100,000	541,329	45,671	空欄料金
雑費	100,000	0	100,000	241,329	23,671	
雑品購入費	50,000	0	50,000	0	50,000	
雑品購入費	50,000	0	50,000	0	50,000	
雑費	50,000	0	50,000	20,200	29,800	
雑費	50,000	0	50,000	36,200	13,800	静岡県山形県 香科、近藤
雑費	20,000	0	20,000	0	20,000	
雑費	20,000	0	20,000	0	20,000	
雑品金	1,100,000	0	1,100,000	1,000,000	100,000	
雑品金	1,100,000	0	1,100,000	1,000,000	100,000	現金→750,000円、繰入金→250,000円
雑品金	410,000	0	410,000	410,000	0	
雑品金	410,000	0	410,000	410,000	0	人事費P/A会費
雑品金	310,000	0	310,000	0	310,000	
雑品金	310,000	0	310,000	0	310,000	
合 計	3,975,000	0	3,975,000	2,698,488	1,276,512	

種別	平成26年度末	繰入金	雑品金	平成27年度末
雑品金	14,610,000	0	360,000	14,970,000

上記のとおり報告します。
平成28年3月31日
同窓会記念事業推進管理委員会
平成27年度 静岡県立小山高等学校同窓会会計
会長 鈴木 新一
上記の決算について監査報酬、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。
平成28年4月5日
平成27年度 静岡県立小山高等学校同窓会会計
会計監査 田代 治久